

花の需要が高まる盆・彼岸のシーズン。市内では、花き部会として、露地部の部員が、収穫や出荷に汗を流している。

今泉の三杉武久さんは、赤やオレンジ、黄色など色とりどりのケイトウを栽培。毎年約10万

JAはだのオリジナルキャラクター「ピーなマン」が、ゆるキャラグランプリに出場しています。グランプリは今年が最後の開催です。当地区部門に全国から683のゆるキャラが出場

ヤラクター「ピーなマン」が、ゆるキャラグランプリに参戦中

ぜひ1日1票を

投票期間は9月25日(金)午後6時まで

1票まで投票できます

で、ぜひ応援をお願いします

です。QRコードを読み取る

と簡単に投票できます。

協同コンサルトが移転

1階になりさらに相談しやすく

881-2629



ケイトウの生育を確認する三杉さん

JAはだの1日、57回目の創立記念日を迎えた。3日には、組合の発

顕彰基金により表彰

J A 発展に貢献の2人と1団体

向原洋子氏 加藤政市氏

協同コンサルトが移転

1階になりさらに相談しやすく

881-2629

J A は だ の

発行 秦野市農業協同組合 (神奈川県)

〒257-0015 秦野市平沢477 電話0463(81)7711(代)

発行責任者 宮永 均

今月の特集 4~5面

加工品で秦野産の魅力伝える

JAはだの、農産物の魅力を多くの消費者に知ってもらうと、加工品に力を入れている。じばさんで商品を販売する他、加工品生産者をサポートする。

8月訪問日もポスト投函

8月の組合員訪問日は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、先月に引き続き訪問方法を簡略化し、機関紙「JAはだの」のポスト投函による対応とさせてい

コロナ影響で簡略化します

ただきます。感染拡大の防止に配慮した対応ですので、ご理解をお願いします。

8月は組合員訪問日充実強化月間と位置付けています。ご意見やご要望のある方は、各支所・支店までご連絡ください。(7面に関連記事)



各方面関係者が新規就農者を激励

市内で、新たに3人が就農した。農業の道を歩み、始めたのは、露地野菜を栽培する菩提の藤澤徹也さん、もと大槻の藤林健一朗さん、施設で花卉(かき)ていく。

秦野市農業経営士会は、17日、本所で「新規就農者を励ます集い」を開いた。同会他、県や市、JAなどから14人が出席。今後の市内の農業を担っていく新規就農者を励ました。

山口孝嘉会長らが、出

接近! おじいちゃん

柳川の武井俊久さん

は、農家に生まれ育ち、18歳で郵政省に就職。定年後も町で勤務しながら、休日には両親を手伝い、農業に汗を流していた。

現在は、約30坪の畑で落花生やニンニク、ミカンなど年間10品目以上を栽培し、じばさんに出荷している。

地域の伝統継承にも貢献

柳川の武井俊久さん(76)

フレ!フレ! 新規就農者

秦野の農業を担う若手



スイスチャードを収穫する藤澤さん



シクラメンの生育状況を確認する北村さん

藤澤さんは、造園関係の仕事に従事しながら、休日には援農ボランティアや米作り体験に参加していた。農のある暮らしに憧れて就農を決意し、勤めていた会社を30歳で退職。転勤先だった愛知県から秦野市に移り住み、はだの都市農業支援センターが開く「はだの市民農業塾」に入塾。野菜作りを基礎から学んだ。北村さん。幼い頃からとあり、家を継ぎたいという思いから、農業を学べる高校、大学へ進学に励んでいる。

学んだ。卒業後は藤沢市の花園で1年間栽培技術を学び、今年4月に就農。研修先で身に付けた技術を生かすだけでなく、父や先輩農家からアドバイスをもらいながら栽培に励んでいる。

藤林さんは、子どもの頃から、趣味でサボテンやパセリを育てていた。農業を仕事にしたいと考えていたところ「はだの市民農業塾」を知り、入塾。2年間かけて、農作業の基礎から農業経営のつまで幅広く学び、就農した。

現在は、約28坪の畑でナスやピーマン、オクラなど年間10品目以上を栽培。化学肥料や農薬をなるべく使わず、環境に優しい農業に取り組む、県が認定する「エコファーマー」の取得を目指している。

藤林さんは「自分が作った野菜を多くの人に食べてもらえるように、今後は経営面や販路を広げていきたい」と意気込みを語った。

やえのちゃんピーなマンの「JAってなに??」

前回協同組合について振り返ったけど、協同組合が何なのか、ええと、そうだな...たしか1840年頃だったよね。

正解! 正確には1844年に英国で生まれたロッチデール先駆者協同組合が最初だったわけ。産業革命が起きたとき、自分たちの暮らしを守るために、生活で必要なものを共同で調達し

て、仲間で分け合う事業を始めたのがきっかけ。

日本では江戸時代後期に大原幽学が作った「先祖株組合」が農業協同組合の元となる組織なの。同じ時代では農村復興政策を指導し、報徳思想を説いた二宮尊徳が有名ね。

そうだったね。次回は二宮尊徳について振り返りたいな。教えてくれてありがとう、やえのちゃん!

産業革命をきっかけに誕生

若手農家も栽培 伝統の特産守る

落花生の収穫最盛期

市内で、特産の落花生の収穫が最盛を迎えている。農家は毎年11月ごろ



落花生を収穫する原さん

まで、収穫や脱粒などの作業に連日汗を流す。若手農家も生産に励み、伝統の特産物を守っている。原さんは2018年に、10坪の畑で栽培して

就農し、当初から落花生の生産に励んでいる。栽培は試行錯誤の連続で、昨年は虫の被害によって収穫量が大幅に減少。そこで、他の生産者やTAC(地域農業の担い手に



ワイヤメッシュ設置場所の距離を測る組合員ら

ワイヤメッシュで獣害防

設置距離を現地で計測

南天名上部生産組合と、ターは6日、イノシシ対策に特化した柵のワイヤ

メッシュを導入するため、設置場所の距離を計測した。かんきつ類が盛んに栽培されている同地区では、イノシシによる被害が昨年から激増した。ミカンの被害は数十に上った他、枝を折られる被害も続出。侵入を防ぐ対策が急務となっていた。ワイヤメッシュは鉄製のため頑丈でかみ切れられないので、維持管理しやすい利点がある。防護ネットと異なる伸縮性がな

そば作り教室活動を再開
上支所運営委地区営農推進協会上支所運営委員会と上地区営農推進協議会は20日、草蒲の畑で「そば作り教室」をスタートさせた。組合員21人が参加した。教室は、遊休農地の解消と地域活性化を目的に、2017年から開催している。和田稔委員長は「春ソバ栽培は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止したが、畑の作業は暑くなるので再開した。今後も地域を盛り上げる活動を続けていきたい」と話した。

農産加工品

J Aはだのは、秦野の農産物の魅力を多くの消費者に知ってもらおうと、農産加工品の販売に力を入れている。30年以上生産を続けている「うでピー」の他、特産物を使った新商品の「あめ」を販売。昨年発売したニンジンポタージュは、販売方法を工夫する。加工品の開発・製造を検討する生産者もサポートし、農産物の消費拡大に取り組んでいる。



「うでピー」の加工で始まった。落花生は、酒のつまみやおやつに。加工が3日、平沢の濃厚な味わいと香りが特

うでピー 落花生のうま味ぎゅつ

冷凍で落花生「うでピー」加工所で始まった。落花生は、酒のつまみやおやつに。加工が3日、平沢の濃厚な味わいと香りが特

工夫凝らして秦野産をPR

オリジナル飴 特産の風味を手軽に

じばさんずは、特産物を使った新商品としてオリジナルの飴(あめ)を発売した。落花生の実を練り込んだ「らっかせい」と、食用八重桜の粉末を入れた「やえざくら」の2種類。手軽に食べられる飴にすることで、幅広い世代に特産の落花生と八重桜のおいしさをPRしている。



新発売した飴「らっかせい」と「やえざくら」

県「かながわブランド」にも登録されている八重桜がデザイン。飴の色が引き立つように、シンプルで手して混ぜ込んで、桜の作り感のあるパッケージにしている。同店のオリジナル商品として、年間を通して販売して、販売価格は、1袋(80g入り) 230円(税込み)。



ポタージュのアレンジレシピを伝えた対面販売

ポタージュ レシピで夏もおいしく

J Aはだのは7日、じばでも食べやすいよう自宅ですんで地場産のニンジン、手軽に作れるポタージュのたもの。レトルトパックを加工したアロマレッドのアレンジレシピを考案。調り温めただけで飲める手軽さが人気だが、気温が高くなると消費が落ち込むことが課題となっていた。そこで、夏でもおいしく食べる方法を消費者に提案しようと、同課が対面販売を企画。おうち時間」に楽しむ料理にも活用できる、8種類のアレンジレシピを考案した。

対面販売は、ポタージュを味付けに使ったパンクラタンやカルボナーラ、洋風炊き込みご飯を調理の見本として並べた。来店者にドリアなどのレシピを書いた紙を配布しながら、スープだけでな幅広い料理に使えることを伝えた。

コロナ禍の農家に対応も

J Aはだのは、農産加工6次産業化への取り組みも品の製造に踏み出す農家を支援している。積極的にサポートしている。相談会やセミナーで役ターの協力を受けて、誰でも立ち知識を伝える他、T Aも参加できる加工相談会を製造・販売に必要な知識を充実させている。保健所向くJ A担当者、加工品を販売している農家は、担当者が連携し、個別の相談から製造を検討する場を提供している。市内では、観光農園を営む農家が、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている。さらに、市や農林水産省の職員が、夏場、格外品のニンジン原料に

J Aがサポート



農家の相談に応じるTACと加工品担当者

発見 頑張る農家

No.444

菩提で「さかなやつゆき」を営む露木進さん・潮美さん夫妻。進さんは高校卒業後、伊勢原市の鮮魚店で3年間修業。その後、父の経営する同店で働き、1993年に潮美さん

新鮮な魚を届けます



——販売しているものは？
アジやサケなど、季節の魚を販売しています。朝5時に小田原市の市場へ向かい、とれたての新鮮な魚を仕入れていきます。北地

——客層は？
近所の人が多いですが、店舗で販売している塩サケはとても人気があります。毎日夜お客さまもいます。また、市内の保育園や小学校にも魚を提供しています。

——息抜きは？
近所の友人とお酒を飲むことです。毎日夜お客さまもいます。また、市内の保育園や小学校にも魚を提供しています。

新品種野菜が人気

育てやすく食味良く じばさんず



人気の新品種野菜「ぐるめペコ」

じばさんず8月上旬、中旬、新品種として売り出している野菜が来店者から人気を集めた。市内の大型スーパーとの差別化を図ると、同店が新しい品種の野菜の出荷を呼び掛けたもの。

販売したのは、ズッキーニのようなカボチャ「ぐるめペコ」、割れにくい小玉スイカ「シャリッ娘」、1個500gほどのナス「とんちんスタ」など。出荷した

「フィールド・フォー・シチズン」のメンバーが7月25日、柳川で「樹木の樹体ジョイント仕立て」を活用して栽培する食用八重桜の枝の誘引作業に励んだ。摘み手の高さを手繰り寄せ、花を収穫できるため、誰でも簡単に収穫できるのがメリットだ。誘引作業は、メンバーや地元農家の人が、生きた枝をテープでワイヤーに固定。30時間隔にV字型になるように整える。



八重桜の枝の誘引作業に励むメンバー

そば打ち講習やSDG s研修を 意見交換会で企画

女性理事 女性部

女性理事と女性部は7月21日、本所で意見交換会を開いた。女性理事や支部役員ら16人が出席し、女性組合員のJ A運営への参画や、女性部の活性化について話し合った。



農業機械を展示した会場

予約会中止で農機を展示
全農かながわは7月28日から8月2日まで、6日間、平塚市田村で農業機械の展示と相談会を行った。

全農は毎年、農業機械展示予約会を8月に2日間開いているが、新型コロナウイルス感染症の影響で今年は中止した。その代りに6日間の期間限定で農業機械を展示し、相談の場を用意した。

告知板

各店舗精米機を
メンテナンス
各店舗に設置している
コイン精米機のメンテナ
ンスを行います。9月2
日(水)午後6時に大根支
所、3日(木)午前1時に東
支所、同日午後1時に北支
所、4日(金)に本所で
実施します。
実施中は精米機を使用
できなくなります。本所
は2台設置しているた
め、1台はご利用いた
だけます。ご迷惑をお掛
けしますが、ご理解・ご協
力をお願いします。
お問い合わせは営農課
まで。☎81-7718

◎日時 9月11日(金)
午前10時～午後4時
相談のお申し込み・お問
い合わせは生活福祉課ま
で。☎72-7661
特定生産緑地
説明会を開催
生産緑地をお持ちの方
を対象に、秦野市が特定
生産緑地制度に関する説
明会を開催します。指
導手続に関する説明もし
ますので、生産緑地の指
定を受けている方はぜひ
ご参加ください。なお、
新型コロナウイルス感
染症などの状況により、開
催の可否を含めて変更に
なる場合があります。変
更となった場合は、市の
ホームページなどで知
らせします。
◎日時 ①8月31日
(月)午後6時から同8
時まで②9月5日(土)
午後2時から同4時まで
※各回の説明内容は同
じ
◎場所 クアーズテッ
ク秦野カルチャーホール
(秦野市文化会館) 大ホ
ール
お問い合わせは市まち
づくり計画課まで。☎82
1-9643
経営継続補助金
申請を受け付け
新型コロナウイルス感
染症の影響を受けている
農業者らに、最大150
万円を補助する「経営継
続補助金」の2次募集が

農産用資材の廃棄処分
対策の一環として、使用
済み農業用ビニールおよ
び農業用ポリ製品を回収
します。希望する方は、
必ず事前にお申し込みく
ださい。
◎日時 9月12日(土)
大根・南地区午前9
時～同10時
東・西地区午前10時
～同11時
本町・北・上地区午前
11時～正午
※天候による変更する
場合があります。
◎場所 本所選果場前
◎対象物 ①使用済み
農業用ビニールおよび農
業用ポリマルチ②使用済

くるべたまご」は除く。
☆「お米の日」毎週水曜日
店頭価格から10%引き。
☆「肉の日」毎週木曜日と29日
店頭価格から5%引き。
◎9月8日(火)は定休日です。
◎新型コロナウイルス感染症な
どの影響により、試食イベント
は休止しています。他のイベン
トも変更になることがあります
ので、ご了承ください。



今月の生産者
名古木の 鳥海 久元さん
生産品目 柿やミカン、
ショウガなど年
間約30品目
土づくりからこだわり、消
費者に喜んでもらえるように
品質の高い農産物を作ること
を心掛けています。出荷して
いるショウガは、薄くスライ
スして三杯酢に漬けて食べる
のがお勧めです。ぜひ試して
みてください。

じばさんず
NEWS
【9月のイベント】
☆「産地商品の特売」1日(火)、
15日(火)、22日(火)、29
日(火)、
産地間提携を結ぶJ Aの野菜
や加工品などを特別価格で販
売します。
☆「旬の野菜・果物フェア」5
日(土)、6日(日)、12日
(土)、13日(日)、19日(土)、
20日(日)、26日(土)
秦野産の旬の果物や野菜にス
ポットを当てて販売します。
☆「国産豚の加工品」18日(金)
(株)フリーデンが国産豚を使用
したお得な商品を販売しま
す。
☆「お彼岸フェア」19日(土)、
20日(日)、21日(月)、22
日(火)
秦野産の小菊や手作りおはぎ
などを販売します。18～21日
は、水菓子や和菓子、お供え
菓子を販売します。
☆「たまごの日」毎週月、金曜
日
店頭価格から10%引き。「み

じばさんず
パート職員募集
じばさんずのパート職
員を募集しています。働
きやすい職場ですので、
お気軽にお電話くださ
い。
◎業務内容 レジおよ
び品出しなど
◎時給 1,000円
◎時間 午前8時～午
後7時
◎時間内でシフト制
◎待遇 社会保険完備
・交通費規定支給・車両
使用可など
お問い合わせは、じば
さんずまで。☎81-77
18

農業のユツ
有みます JA農機ハウスローン
応 軽トラの 応 大型農業機械の 応 農業用の井戸・ 応 農家への 応 農家への
1 購入にも! 2 購入にも! 3 水道の設置にも! 4 作業所・倉庫の 5 設置にも!
応 ハウスの 応 小型農業機械の 応 建設費用にも! 6 購入にも!

JAグループ神奈川応援プログラム
—— 利子補給事業 ——
補給率 1.0%
保証料助成事業 0円
JAが取り扱う全ての農業資金(公庫資金を除く)について、
最大1.0%(最長10年)の利子補給を行っています。
※貸付条件に合致したすべての方が対象となります。
※商品にはそれぞれ下限利率があり、貸付条件等によって補給率が異なり
ます。
※延滞等が生じた場合、延滞した元金は利子補給対象外になります。
※「JA農機ハウスローン」については、全期間利子補給の対象となります。
JAが取り扱う全ての農業資金において、県農業信用基金
協会の保証が付された場合の一括前払い保証料を全額助
成するもの。一度お支払いいただいた後、全額助成いた
します。
※一括前払い以外の方法により支払われた保証料については、助成の
対象となりません。
詳しくは 各支所・支店または融資課まで ☎0120-954-093



地域で伝統守る大山灯籠
鶴巻下部大山灯籠保存会
地域住民の有志らで構成
する鶴巻下部大山灯籠保存
会は7月25日、鶴巻第一自
治会館の敷地内に、大山灯
籠を組み上げた。8月17日
まで、毎日午後6時ごろか
ら約2時間灯された。
灯籠は、大山参りの道し
るべとして200年以上前
から毎年組み立てられてい
るもの。現在、この伝統行
事は秦野市指定無形民俗文
化財に指定されている。
同会のメンバーは、声を
掛け合いながら石の土台の
上に覆屋や灯籠などを順番
に組み上げて完成させた。

地域農業に関する
アンケートの提出を
7月の組合員訪問日に
正組合員世帯へ配布した
「地域農業の将来に関す
るアンケート調査」につ
いて、まだ提出されてい
ない方は、同封した返信
用封筒で至急提出をお願
いします。このアンケ
ーは、地域農業の実情や
課題を把握するもので、
秦野の農業の将来に関わ
る大切な調査です。ご協
力をお願いします。
お問い合わせは市農業
振興課まで。☎82-96
26

ローン・年金相談会
●住宅の新築・お借り換えやお車のご購入、お子さまの教育
資金など、各種ローンのご相談を無料で承っております。
お気軽にご相談ください。
●これから年金を受け取る方の複雑な受給手続きのお手伝いをさせていただきます。
9月12日(土) 9月2日(木) 9月6日(日) 9月8日(火)
本町支所 鶴巻支店 本町支所 大根支所
※時間は午前9時～午後4時まで。どなたでもご相談いただけますので、お気軽にご来場ください。
※感染症などの状況により、中止になる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
それぞれ事前予約を 各種ローンを相談される方は 融資課に お願いいたします。 ◆年金受給手続きを相談される方は 信用課に
■融資課 ☎81-7713 ■信用課 ☎81-7716
当日は ☎0120-954-093 当日は ☎0120-954-092

「家の光大会」伝統守る

コロナ対策は万全に 日頃の活動成果を堂々発表

女性部は4日、本所で「J Aはだの家の光大会」を開いた。4支部の代表が登場し、同部での活動や月刊誌『家の光』に掲載された記事を生かした経験などを、各自のテーマに沿って発表した。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催が危ぶまれていたが、48年続く伝統ある大会を守ろうと、対策を徹底した上で開いた。



席の間隔を空けて感染症対策を徹底

登壇した部員は、目的
別趣味グループでの体験
談や『家の光』の記事を
活用したことで日々の生
活や女性部活動の幅が広
がったことを発表した。
内容は家の光協会の職員
らが審査した。
大会は、毎年恒例の行
事。昨年までは3月に開
催していたが、感染症の
影響で開催を見合わせて
いた。しかし、部員が互
に「発表者と出席者が互
に学び合う場でもあるの
で、今年も開いてはし
い」との声があり、開催

北支部は毎年、使用済
みの食用油を使って、リ
サイクルせっけんを作
っている。材料に使うの
は「農業まつり」で同
支部が揚げ物販売した
際に出る使用済み油だ。
せっけんは環境に優し
く、ごみの削減にもつな
がる。

北支部エコが人気の活動
せっけん作りは、20
08年にスタート。部員
が祭りですった油を再利
用できないかと考えてい
たところ『家の光』に廃
油を使ったせっけんの作
り方が掲載されているこ
とを知り、支部活動に取
り入れた。せっけんは、
台所の水あかや衣類の泥
汚れなど、さまざまな場
面でするため、多くの
部員から好評だ。
今年は7月28日、北支
所の敷地内で部員9人が
せっけん作りに励んだ。
カセイソーダと油をよく
混ぜ、牛乳パック12本分
を作った。各自で持ち帰
り、4～5日かけて固め
た後、使いやすい大き
さに切って天日干しで完
成させた。
同支部では、環境問題

9月の女性部行事予定表		
3日(木)	9:30～	本部役員会
9日(水)	9:30～	支部役員会(大根・本町)
//	13:30～	支部役員会(西)
10日(木)	9:30～	支部役員会(南)
//	10:30～	南支部「ヘチマ化粧水作り」
//	13:00～	支部役員会(東)
//	13:30～	支部役員会(北・上)
//	14:30～	東支部「SDGs講習会」
17日(木)	10:00～	大根支部「廃油せっけん作り」
24日(木)	10:00～	常勤理事と女性部7支部長との意見交換会
28日(月)	10:00～	女性理事と女性部本部役員との「そば打ち講習会」(本町・東・上)
30日(水)	10:00～	女性理事と女性部本部役員との「そば打ち講習会」(大根・南)

※新型コロナウイルス感染症の影響により、予定が変更になる場合があります。お問い合わせは生活福祉課まで。☎72-7661

女性部が撮影した「びーなマン体操」と「やえのちゃん音頭」の動画がプロジェクトは、新型コロナウイルス感染症の影響で活動の場を失った文化芸術関係者に対し、クアーズテック秦野カルチャーホールの小ホールを期間限定で無料提供しているもの。ホールを利用して撮影した動画を市公式チャンネル「はだの



部員の「びーなマン体操」を撮影
部員18人が7月15日
に、同ホールのステージ
に上がり、J Aオリジナル
キャラクター「びーな
マン」と「やえのちゃん」と一緒に撮影に参加した。
熊澤部長は、動画を通
して、多くの人に女性部
に興味を持ってもらいた
い。秦野の特産物である
八重桜と落花生も知って
もらえれば」と笑顔で話

私の班は、正組合員2人と、准組合員である私の合計3人で活動しています。
女性部活動の「自給率向上大豆プロジェクト」で大豆の種まき・収穫・脱粒(だつり)・みそ造りを体験し、自らが農業に携わることと食と農の大切さを実感しています。活動の中で仲間とコミュニケーションをとるのも楽しみの一つです。手塩に掛けて育てた大豆から愛情込めて造るみそは、とてもおいしく仕上がります。皆さんもぜひ体験してみたいです。

支部だより
ゴキブリ団子
本町支部は11日、本町支所でゴキブリ団子を作った。夏場のゴキブリ駆除に役立てようと、部員19人が参加した。
部員は殺虫成分の中でも抵抗性がつきにくいホウ酸を、すりおろしたタマネギなどと一緒に混ぜ合